八王子市
HACHIOJI CITY

あなたのみちを、あるけるまち。八王子

プレスリリース　令和５年(2023年)２月15日

「南多摩のメカイ製作技術」が都の無形民俗文化財に！

「メカイ」は文字では「目籠（めかご）」と表し、多摩地域で自生する篠（しの）竹（アズマネザサ）で編む六つ目の籠です。江戸時代から昭和前半まで、南多摩地域の多くの農家で重要な収入源として作られていました。

南多摩のメカイ製作技術は、他地域の竹細工と違い、

- メカイ包丁を使用する
- 芸術的な完成度を求められない日用品だったため、訓練すれば誰もが作れた
- 篠を乾燥させず青いまま使う

という特徴があります。かつては南多摩地域で広く作られていましたが、都市開発によって里山は切り開かれ、人々の生活環境が変わり、技術を受け継ぐ人は少なくなってしまいました。今回、篠竹の伐採からおこなう伝統的な製作技術が、東京都の文化財の指定にふさわしいと、本日行われた東京都文化財保護審議会で答申されました。都の無形民俗文化財のうち、民俗技術部門としては初の指定となり、市内で活動している団体が保存団体として認定される見込みです。

１　文化財の名称　　南多摩のメカイ製作技術

２　伝　承　地　　八王子市、多摩市

３　保 存 団 体　　八王子由木メカイの会（八王子市）
多摩めかいの会（多摩市）

４　指定の事由等　　メカイは、製作地の農家では日常生活用具として重宝されたほか、都市部の商店や料亭に出荷・販売することを目的として冬の農閑期に大量生産され、農家の貴重な現金収入源だった。また、高度経済成長期以前の人々の生活に欠かせなかった里山を維持するために伐採する必要がある篠竹を再利用して製作される。都民の生活文化の特色を示す民俗技術として貴重な文化財である。

※ 保存団体へ取材を申し込まれる場合は、文化財課へご相談ください。

＜問い合わせ＞生涯学習スポーツ部文化財課長　叶　電話０４２－６２０-７２６５